

# 津田左右吉物語

## 第23回

左右吉をとりまく人々

(くりたなおみ  
栗田直躬先生)

左右吉と栗田直躬先生（早稲田大学名誉教授、94歳）の師弟関係は、栗田先生が早稲田大学で左右吉の講義を受けたことに始まり、左右吉の最期まで親密な関係が続きました。

栗田先生は、昨年末に『中国思想における自然と人間』を著しました。その巻末の「津田左右吉先生の学問の意味」と題した一章では、ともすれば誤解されがちな左右吉の研究について、人々に注意を呼びかけています。また、津田事件の5年にわたる裁判では、大学を休職して恩師の弁護活動にあたりました。戦後、左右吉が入退院を繰り返しながら学問の研究ができたのも、栗田先生の力添えによるところが大きかったのです。



▶ 栗田直躬先生



左右吉の死後も『津田左右吉全集35巻』の編集、早稲田大学津田記念室の開設、武蔵野市の津田記念公園の開設、軽井沢の山荘跡に歌碑を建立するなど数多くの事業を行いました。栗田先生の恩師に対する思いが伝わってきます。